

会員について

CCFJの目的に賛同して入会し、CCFJの運営を推奨する会員には下記の種類があります。全会員の皆様にIBDニュース及びイベントのお知らせ等をお送りいたします。

正会員 個人/団体
総会の議決権あり **年会費** 個人 1口 1,000円(3口以上)
団体 1口 10,000円(1口以上)

準会員 個人/団体
総会の議決権なし **年会費** 個人 1口 1,000円(3口以上)
団体 1口 10,000円(1口以上)

賛助会員 CCFJの事業を賛助するために入会した個人及び団体
総会の議決権なし **年会費** 1口 10,000円(1口以上)

※正会員・準会員・賛助会員とも入会金なし

年会費は、当協会のいずれかの口座へ入金してください。

会計年度は4月1日から翌年3月31日です。

入会年度にご注意ください。

住所変更などは速やかに事務局までお知らせください。

裏表紙の入会申込書に所定事項をご記入の上、事務局宛てに郵送また FAX して下さい。

CCFJの役員

理事長	杉田 昭	横浜市立市民病院外科
副理事長	飯塚 文瑛	日本炎症性腸疾患協会
理事	駒木根 由美子	日本大学病院看護部
理事	吉村 直樹	東京山手メディカルセンター炎症性腸疾患内科
理事	新井 勝大	国立成育医療研究センター消化器科
理事	小金井 一隆	横浜市立市民病院外科
理事	篠崎 大	東京大学医学研究所附属病院外科
理事	高橋 賢一	東北労災病院大腸肛門外科
理事	板橋 道朗	東京女子医科大学病院消化器外科
理事	猿田 雅之	東京慈恵会医科大学消化器・肝臓内科
理事	榎本 哲	つぐむびとプロジェクト
理事	吉田 公彦	日本炎症性腸疾患協会
理事	花岡 隆夫	かながわコロナ
理事	鈴木 康夫	東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科
理事	根津 理一郎	西宮市立中央病院外科

2017年6月現在

入会申し込み

お申込み日 年 月 日

フリガナ			
お名前			
性別	男・女	生年月日	年 月 日生
住所	〒 ー		
電話番号		FAX	
E-Mail	@		
該当□を チェック	<input type="checkbox"/> 患者本人 <input type="checkbox"/> 患者家族 <input type="checkbox"/> 医師 <input type="checkbox"/> 看護師 <input type="checkbox"/> 栄養士 <input type="checkbox"/> その他医療従事者		
会員区分	正会員 (<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体) 準会員 (<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体) 賛助会員 (<input type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 団体)		
疾患	<input type="checkbox"/> 潰瘍性大腸炎 <input type="checkbox"/> クローン病 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> ほか		

口座

■三井住友銀行 銀座支店 (支店コード: 026)
普通 7647323
特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会

■三菱東京UFJ銀行 新宿中央支店 (支店コード: 469)
普通 5568986
特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会
理事長 杉田 昭

■ゆうちょ銀行
1) ゆうちょ銀行からの振込
口座番号 00100-0-600204
2) ゆうちょ銀行以外からの振込
店番 019 当座 0600204
特定非営利活動法人 日本炎症性腸疾患協会

特定非営利活動法人

日本炎症性腸疾患協会

Crohn's and Colitis Foundation of Japan



〒162-8666 東京都新宿区河田町 8-1 東京女子医科大学病院内

Tel 03-5269-7136 / Fax 050-3730-5500

<http://ccfj.jp/>

CCFJ



特定非営利活動法人

日本炎症性腸疾患協会

Crohn's and Colitis Foundation of Japan

Message ご挨拶

本協会は近年、増加の著しい潰瘍性大腸炎やクローン病などの炎症性腸疾患患者さんやご家族に充実した社会生活を送って頂くために2003年10月に設立されました。その活動を継続、拡充するために公的法人とすることとし、2004年5月にNPO法人として認定されて現在に至っています。

本協会の目的は炎症性腸疾患が広く社会一般に理解され、医学的見地や社会状況を考え合わせて、患者さんやご家族の生活の質の向上に寄与する活動を行っていくことです。医師主導の学術組織では疾患の原因、病態、診断、治療などが主に検討されており、本協会はその結果を患者さんに伝え、日常生活にいかにかかすか、また患者さんの周囲の社会的な状況をいかに改善していくかを考えて行きます。現在は、疾患についての概要や最近の知見を取り上げているIBDニュースの発刊、書籍の刊行、医療や社会生活に関する内容を取り上げる講演会の開催、IBD子どもキャンプの開催などを行っています。

今後の重要な課題として更に多くの皆さんに様々な貢献をするために、本協会の活動を全国規模で展開していくことが必要と考えています。そのためには各地域での各職種の皆さんとの連携や、関連する職種の皆さんの御協力を含めた協会組織の基盤強化が不可欠であり、その達成に力を入れて行きます。

医療に関する情報提供を広範に行うとともに、就労、就学を含めた社会生活への支援、患者さんの経験に基づいた病気に関する種々の問題への対応を皆さんとともに考え、対処行くことにより、患者さんや周囲の方々の社会生活が充実するように種々の課題に取り組んでいきたいと思ひます。

2017年5月17日



Akira Sugita

理事長 杉田 昭

1 IBDニュース

CCFJの前身であるJFCCが1996年に創刊し、その後発刊を重ね、2016年7月に58号を数えます。

IBD専門の医療関係者のご協力で質の高い情報提供に努めています。

今後は電子版での発行に向けて検討しています。

掲載例

- IBDは遺伝しますか？
- IBDと食事 - 脂質について
- IBDの基本薬
- IBDとがん など



2 講演会

IBD 治療の最前線から就労をはじめ生活を支えるための情報まで、幅広いテーマで講演会を開催しています。



3 IBD子どもキャンプ

2011年からスタート。当初参加した子どもたちが、リーダーとして次代の子どもたちを支える側に。子どもたちの成長の場として進化しています。



4 ホームページでの情報提供

ホームページ上でIBDニュース、全国IBD医師リスト、イベント情報等を公開しています。



<http://ccfj.jp/>

ひとつでも
多くの
笑顔のために

